

診療体制

外科の診療体制が整いました。緊急の外科手術を受け入れています。

急性期治療に力を入れています

急性期とは、病気になって間もない時期のことです。この時期は病気やけがによる状態が刻々と変化しますので、的確な状況判断や迅速な対応が必要です。

救命救急センターを有する病院や地域の救急指定病院などでは担っている機能・医療であり、他職種との連携を取りながら突然の容体急変のリスクにも備えます。

救急医療

24時間365日救急車を受け入れています。

▶2022年救急車受け入れ実績：2,010件
(小児科：平日は夜間救急の対応可能)



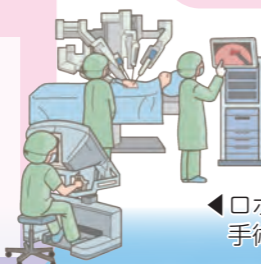
急性期病棟 (180床)

対象診療科：内科、外科、整形外科、婦人科、泌尿器科、心臓病センター、口腔外科、小児科

心臓病センター 医師を増員しました

(循環器・心臓血管外科)

循環器病は一刻を争うケースが多いため、緊急カテーテル治療や心臓手術ができる体制を確立しています。



◀ロボットによる手術導入(予定)



心臓血管カテーテル治療



回復期リハビリテーション病棟 (46床)



訪問看護ステーション『わかば』



療養病棟 (42床)



検診センター

健康診断や人間ドックを行い、早期発見、早期治療につなげます。



地域包括ケア病棟 (32床)

急募

看護師など スタッフ募集中!

病床数の増床に伴い、看護師、看護補助者、介護福祉士、薬剤師を募集しています。直接病院までご相談ください。

問い合わせ
総務課 馬上
☎@1131 (代表)



採用情報 HP



私たちは、「一人ひとりを大切に」看護できるよう患者様に寄り添ってまいります。より地域に密着した医療・看護の提供を目指しております。

看護部長 八木千乃

榛原総合病院は地域の皆様の健康と生活をお守りいたします



地域包括ケア病棟オープン

問い合わせ 榛原総合病院 患者支援センター 杉田、川島
☎@7301 (直通) ※平日の午前8時30分~午後5時

地域包括ケア病棟とは

急性期治療を経験し、病状が安定した患者様に対して、60日間を限度として、在宅や介護施設への復帰に向けた医療や支援を行う病棟です。「在宅での療養に不安があり、もう少しの入院治療で社会復帰できる患者様」または「在宅で生活療養しているが、家族の介護負担が大きく一時的に入院希望がある家族」のために、地域包括ケア病棟を準備し、安心して退院していただけるよう支援していきます。



▲寝たまま入れる「機械浴」の設備があります

入院の対象となる患者様

- ▶入院治療により病状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な人
- ▶在宅復帰や介護施設での療養に準備が必要な人
- ▶在宅で見ている家族の介護休暇が必要な人 など



▲ホールで集まって、食事や集団リハビリなどを行うこともあります

入院から退院までの流れ

急性期病棟に入院
または在宅での療養

患者様と相談
入院前の生活状況などを
確認させていただきます。

地域包括ケア病棟に
入院 (60日限度)

退院または施設入所

入院の申込方法

- ①現在治療中の医療機関で、主治医や医療ソーシャルワーカーに相談してください。
- ②紹介状と情報シートを当院に提出してください。
- ③当院で入院適応(必要性)について検討させていただきます。

より良い医療を提供するために

- 病状や介護量など、入院前と変化しているところを確認して、退院後の生活場所を決めていきます。
- 退院後の住まいの環境づくりのために、必要な患者様には自宅訪問します。
- 退院後の医療や療養環境が継続できるように、利用する介護サービスを具体的に相談させていただきます。
- 退院後の生活における心配事や介護方法の相談をさせていただきます。

